

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた質問を紹介します。



凡例

会場からの質問

出村先生、西村さんの回答

西村さんの公演で紹介された、お店の前をオープンカフェなどに活用事例はとても良いと思いました！一宮駅前の銀座通りなどでもできるのではないですか？



銀座通りでオープンカフェ、イイですね！
実現に向けて頑張りましょう！

はじめて参加させていただき、とても良い議論もあって勉強にはなりました！今回、道路や公園、商店街どうするかとか議論されていましたが、仕事や遊び、コミュニティの場など『目的を生もう』と言う議論が必要な気がしました。
このままでは衰退していく気がしてなりません、みなさんのお気持ちはいかがでしょうか？

ハードは、「誰が」「なんのために」「なにをするのか」が見えないと、整備してもなんの効果も生みません。今回はこれを考えていくための第1回目なので、ご指摘のとおり、今後、ハードとソフトの両輪で議論をすすめていくべきだと思います。ただし、活用するのは市民です。誰かがやってくれるという姿勢ではなく、市民ひとりひとりが「何をしたいか」を考えていくことが必要かと思っています。

西村さんの講演を聞いて、「数から質の時代。単に欲しいから、喉から出るほど欲しい！中心市街地にそんな店やサービスが必要ではと感じました。そんな店舗などが集まるきっかけや仕掛けなどを上手くやった事例はありますか？

一つの店舗から様々なお店が集まるエリアへの転換した事例はたくさんあります。講演で紹介した佐賀の他、岐阜の柳ヶ瀬もそうなりつつありますね。

一宮駅前でチェーン居酒屋のフランチャイズオーナーをやっていて、地域とつながりたいと思っています。自分からコンタクトや行動を取ればいいですが、そこまではできていません。そういう店が地域と関わる方法がありますか？ゆるーく巻き込まれる方法や手段やきっかけがあったらうれしいです。

市やまちなか未来会議のホームページやSNSで広報をしておりますので、可能な範囲でご参加いただくと良いと思います。声を掛け合っていたく仲間が増えると、より参加しやすくなると思います。

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた質問を紹介します。



会場

凡例

会場からの質問

出村先生、西村さんの回答

街がよい方向に変わり始めるきっかけ、あるいは、走り続けていくために、誰が本気になって動き出すことが重要でしょうか？



出村先生



西村さん

きっかけは外部の専門家でも良いと思いますが、市民や行政職員の方が本気になることが何より大切です。

近くの市だと駅にペDESTリアンがありますがどう思いますか？

ペDESTリアンデッキは、何者（特に車）にも邪魔されずに、安全に通行できる点が最大の利点だと思います。一方で、路面を掘れば掘るほどお金がかかることと、地面に暗い部分が広がってしまうことから、どうしても移動の目的に特化してしまいます。その点、地面をペDESTリアンの世界にしていれば、もっと自由に歩行者の安全とライフスタイルを守ることができて、高い満足が得られると考えますが、いかがでしょうか。（そのために車をどうするか、という話になっていきます）

一宮のまちなかに出店したいという人もいますが、既に賃料が高くて断念したという声も聞きます。魅力的なお店に来て欲しい一方で、この状態を打破するにはどこから何をすればよいのでしょうか？

遊休不動産は、空き家のままでは価値が棄損するばかりで、魅力的に使われてこそエリアの価値があがり、結果不動産の価値があがります（地価や賃料の上昇など）。貸してこそ不動産オーナーの利益につながることを、不動産オーナーの皆様に理解していただく取り組みが必要だと思います。小さくてもいいので、いい事例をひとつひとつ積み上げて、実例を見せていくことも重要だと思います。

ストリートに外からお店を誘致すると、沿道の店舗と競合して反対されないですか？

競合するよりも、店が客を呼んで地域全体が良くなるのがほとんどです。

仮に駅前の銀座通りの半分を歩道にした場合、駅周辺の渋滞が常態化される懸念がありますが、どのような解決策が考えられますか？

本当に駅周辺の渋滞が常態化するか、まずはしっかり検証することが大事。事前のシミュレーションのほか、短期的に試してみる社会実験も必要です。

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた質問を紹介します。



会場

凡例

会場からの質問

出村先生、西村さんの回答

防災対策や高齢者への配慮も有って欲しいと思いました。具体的には車椅子の方が駅から真清田神社まで楽に安全に移動でき、楽しめるようなフラット化、災害時には災対本部を設置できる場所の確保などを思い浮かべますが如何でしょうか。



出村先生



西村さん

バリアフリーやユニバーサルデザイン、災害時の在り方を考えることは、基本的な考え方として重要だと思います。

これまでこんなに道の様子を気にしてみた事はなかったです。一宮でもこんな活用をできる場所があるのだろうか？

道を活用するための仕組みや制度を考えたり、沿道の協力が必要ですが、空間としては十分活用できる場所があります。

一宮のまちなかでどの通りから良くすることを考えるのが良いでしょうか？あるいは網羅的に取り組んだ方が良いでしょうでしょうか？

まずは駅から人が出してもらうために、銀座通り、本町通り、真清田神社が主要な動線として重要です！それと同時に、自分が住んでいたり、お店を出していたりする場所など、ひとりひとりが身近なところから自分たちでよくしようと取り組むことが大切だと思います。

「一宮には何もない」という言葉は、「一宮には（一宮にしかないものが）何もない」という意味かもしれないですね。いや、ささやかな良いものを見つける視点が若者にないのかも。感性を豊かな人を育てる街になるといい。

ささやかな、よいものを見つける視点。それが交流の中で共有される限界がこれからできることを願います。

少子化の中、今回の議題は、一宮市だけでなくすべての町の課題だと思います。縦割りではなく横のつながり、どうやればできるでしょうか

行政の各部署が連携することも大事ですが、立場を越えて話し合うことも大事です。

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた質問を紹介します。



凡例

会場からの質問

出村先生、西村さんの回答

居住状況に変化がない状況でウォークابلを成立させるための種は、例えば何が良いと思われますか？



公共空間を居心地よくすることが大事。建物からなるべく外に出てもらうきっかけづくりが必要だと思います。

市民が参加しやすいようなシステムを作ってくれないと市民は動かない。リードする策はないのか？

まちなか未来会議がその役割を担うために発足しています。ぜひご参加して一緒に考えましょう！

一宮は2026年アジア・アジアパラ競技大会のバドミントン会場であり、アジア各国からの多くの大会関係者、国内外から多くの観戦者が来るので、温かくおもてなしすることが求められます。特に、一宮の玄関口のまちなかのハード・ソフト両面での対応が大変重要で、誰もが参加しやすい街として、イスラム圏の方々へのハラール料理の提供されたり、障害者・高齢者・子育て中の方などがウォークابلに楽しめるまちなかになって欲しいです。大会開催に向けたバリアフリーのガイドラインが昨年12月に公表されていますが、そのガイドラインを参考にするなどバリアフリーの検討は何か考えているのでしょうか？

多様性もまちづくりにとって大事ですね！バリアフリーは当然考えながら進めていくのは必要不可欠です。

毎週、毎日イベントがあってもいいな。「一宮、今日こんなイベントやっているんだ」と知らずに来た人にも楽しめる場所になると嬉しい。『一宮に来ると「ナニか」やってる』みたいな感じ。

期待感、重要だと思います。

西村浩さんの講演に感動しました！まちづくりの主役は市民であり、多様な考えをもつ市民のビジョンを共有した取組みほどワクワク、ドキドキするものではありませんね。行政ではどうしても「やらされて」意識が出て、能動的でポジティブな意見や発想は生まれにくい。今日のシンポジウムをきっかけに会場にお越しいただいた市民のみなさんの今後の活動に大いに期待いたします。

定期的を開催して、共有するビジョンを深めて高めていきたいですね！

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



凡例

子どもたち、子育て世代に着目したご意見、ご感想

未来を担う子どもを主役に置いてまちづくりを考えて欲しい！安心安全に子育てできるまちは、少子化でも生き残り、大人都合ばかりで作ったまちは、廃れていく気がします。

子育て支援センターはすごく良いですが、幼児や小中学生が安心安全に遊べる場所をまちなかに作ってほしい(豊橋や小牧のこども未来館みたいな)。まちなかに元気な声があふれると、まちにも活気が生まれます。楽しい子ども時代を過ごせたまちは、大人になってもふるさととして愛されるのではないかと思います。

知多半島の知多市からきました！先月、半田市に西村さんがいらした時に参加したかったのですが、夜だし、託児所もなく、車も乗らない私にとっては参加が難しかったです。今日は、昼で託児所があって駅近の会場だったので参加できました！お母さんと子どももまちづくりのメンバーによりしくお願いします。

5歳の子育て世代です。i-ビルには図書館を目的に車でよく来ますが、雨だと屋外にも出ずに帰ってしまいます。子育て支援センターは年齢が上がったので使えません。本町アーケードに小牧こども未来館のような小中学生まで楽しめる屋内施設があれば、雨に濡れても歩きたいです。

子どもがケンケンパしている動画が印象的でした。子どもが安全に安心して遊べる場所をまちなかに作ってほしいです。子どもがのびのび育つまちは、活気が生まれて元気なまちになると思います。

子どもが遊べるまちなか、親が子どもを連れて遊びに来たいと思えるまちなかが理想なのかなと思いました。子どもが親になり、またその子どもを連れてきたいと思えば、持続可能なまちになるのではないかと思います。

出産できる場所や妊娠出産子育ての相談ができる場所が《徒歩圏内》にあること！それが子育て世代の願いです！これを少しでも進めるためにBFF@ちた半島という団体を作って #知多半島ぐるっとお産会議 をやっています♪

ベビーカーを押しやすい歩きやすい道路整備をして欲しい

駅東にある駅中・駅前駐車場は、図書館を利用する小さい子供をもつ親が利用するので無くさない方が良い

西村さんの「イベントだけじゃ従業員雇えない」になるほどと思いました。今は一宮駅周辺は、イベントだけ、週末行くだけなので子どもの記憶に残らないようです。夏休みの思い出がキリオのソフトクリームと言われてしまった1児の親より。七夕祭りも行ったのに…

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



会場

凡例

子どもたち、子育て世代に着目したご意見、ご感想

交通、駐車場に着目したご意見、ご感想

拠点施設の誘致に着目したご意見、ご感想

西村さんのパワーと熱意をととても感じる有意義な講演でした。子供たちの為にも何かこの一宮市をなんとかしたいなあと思いました。

駅前の渋滞がひどいと感じています。車と歩行者のすみ分けを考えて欲しいです。スクランブル交差点が逆効果ではないでしょうか。シビックテラスから直接銀座通りの方に降りられる歩道橋的な通路があると、安全だし、銀座通りにも人が流れやすいのではないかと。

一宮市の北部から中心市街地やそれ以南に車で行こうとすると、カーナビや地図アプリでも一宮駅前を通させるルートが推奨・距離優先になります。通過している私も、歩行者や自転車多いし信号交差点も多いので車で通過したくないと感じるし、歩行者や自転車も通過交通は減ってほしいと思っているはずなのに、都市構造が通過交通を促している気がします。せっかく鉄道も連続立体交差事業で平面は開放されてるはずなのにもらったくないです。

個人的には安藤さんの気になること『駐車場が有料』に共感できました。ビルの建て替えから駅周辺はお店も新しくなり賑やかになっているのだなと感じつつも、私も同じ西成連区なので駅までは車が便利。駐車場は有料、立体が多い。行きたくても駐車場のことを考えるとなかなか足が進みません。ショッピングセンターのように気軽に駐車できればいいと思います。

まちなかが活性化されるのは賛成です！しかし、駅周辺に車で行く際は非常に不便な印象です。微妙に駐車場代金も高く、なんとかして頂きたい。

銀座通りの活性化のためには公共施設や指定店舗での買物で3時間無料になる豊田市のフリーパーキングを真似すればいいと思いました。

一宮は昼人口が少ないことが問題の核心だと思います。まちなかの空き店舗を専門学校や大企業のサテライトオフィスなどの誘致に活用することが必要だと思います。

テキスタイル・毛織物のミュージアムなど、シンボルとなるような美術館などが欲しいです。それも、ちゃんとした建築家に依頼した素晴らしい建築物であることが絶対条件です。多治見のタイルミュージアムや豊田市美術館など、素晴らしい建築は全国から多くの人を集めます。そういう美術館に公園なども併設されれば私たち市民はちょっとお散歩に行こうと思います。そうすると、いろんな感性を持った人がたくさん集まって個性豊かなお店なども増えます。お金がかかることなので難しいことも多いと思いますが、長い目で見たら多くの潤いをもたらすと思います。一宮に住んでいることが誇りになります。

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



凡例

拠点施設の誘致に着目したご意見、ご感想

広報に着目したご意見、ご感想

その他まちづくりのポイントに関するご意見、ご感想

西村さんの講演の、大分の話はなるほどとの思いました。20数年前の大分は郊外大型モールの出店で中心市街地から人がどんどん減っている状態で、駅前商店街にはナショナルチェーンが目に見えて増えていました。一宮はこれを教訓とし捉え、中途半端でなく思い切った施策が必要と感じました。そこで駅周辺に音楽ホールの誘致を提案します。TGC、駅ピアノの成功事例もあります。まずは駅付近にパフォーマー、大道芸人のフリースペースをつくり関係者に呼びかけます。音楽関係の専門学校等も誘致し文化芸術イベントを行います。若い人を中心に人を呼べば商店街は潤います。福岡市、金沢市のような街を目指していただければと思います。

『広報』が大切だ！という話もありました。特に若い人を集客したり、一宮の素晴らしい魅力を広めるには、InstagramなどのSNS等の活用が重要だと思います。

リテイルは友人が出店していたので、知多市から名鉄で行きました。Instagramで開催を知りました。Instagram等で「おもしろいことをやっている感」がたくさん発信されたら、行ってみようかと思う人が増えるかもしれません。

イベント開催自体もちろん良いが、市内外への告知や広報をもっと多く、広範囲に実施して欲しいです。ポスター、ラジオ、テレビ、ダイレクトメール、SNSなどの活用を期待します。

公共空間で楽しむためには、まちなかに誰もが利用出来るトイレが必要だと思います。障害のある方々にも意見を聞いてバリアフリートイレを設置したり、各店舗でのバリアフリー対応が進むことを期待したい。

2023年にニューヨーク・タイムズに選ばれた、盛岡にフィールドワークで行きました。盛岡は、決して駅前がウォーカブルではなく、広い範囲を、楽しんで歩ける街でした。盛岡八幡宮も盛岡駅から遠く、一宮駅と真清田神社はとても近いです。距離の問題ではなく、何をこの場所で体験できるか！だと思っています。

28年前は東京に行かないと出来なかった仕事が、今は一宮にいてもできます。特にコロナ禍を経て、時々、東京に行く程度で大丈夫になりました。しかし、一宮に銀座通りに行きたい店がありません。今日、午前大須に行きましたが、覗きたい店がたくさんありました。夜だけ営業している居酒屋だけでない店がほしいです。

駅前の道路が車を通するものとして最高のパフォーマンスを発揮した時期はおわりを迎えているように感じます。そんな中、駅前のまちにとって重要な場所が通過するだけ道路で占めているのは勿体無いと感じます！

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



凡例

その他まちづくりのポイントに関するご意見、ご感想

一宮市じゃなくて、近隣市町に住みたいと言う人も多いです。理由は不動産が安いからとはっきり言いません。それを上回る魅力を作りたいですね！

一宮で高校まで教育を受け、今は東京と2拠点生活をしています。神社女子会をやっています。尾張國一之宮があり、神社好きな方は全国の一之宮に足を運ぶのですが、休憩をする場所がありません。また、一宮モーニングを終日楽しめる場所や、一宮の物産が見られる場所もほしいです。1店舗での経営が難しければ、テナントスタイルでも良いと思います。資源があるのにつなげていないことが、残念です。

一宮駅前地下駐車場は、地下ではありますが、風が強い雨の日には地下駐車場から駅ビルに移動した時に、エレベータを出たところで濡れてしまいます。

駅の外に人が集まらないという話がありましたが、本町商店街をもっと盛り上げれば、人は集まるのではないかと思います。具体的には大須商店街のような形にすると学生や観光客がふらっと立ち寄ることができると思います。

極論ですが、七夕祭りの時に盛況だったコスプレを全面に出し、ロータリーを秋葉原みたいにアニメやアイドルの場所にしてはどうですか？服飾関係も賑わうかもしれません。子供達が大好きなポケモンセンターとか誘致するとかも考えられます。

駅前通りに人を滞留させて人と経済を考えるには、駅ナカのみのフリーWiFiでなく一宮市役所の範囲でフリーWiFiを整備したり、継続的なキッチンカー出店、オープンスペースの有効活用が出来るのではと、銀座通りにて20年和食店を経営しながら、店の窓から眺めて考えています。

歩道に看板や商品が出ている店舗は興味を惹きますね。一宮駅前には朝夕の通勤時に通りますが、今もやってる店舗か？のお店が多いイメージで、店構えにも工夫ができると良いと思います。

街歩きを楽しむには人々の暮らしに余白が必要ですね。初めて会った人と話が弾んだりする「街に出るおもしろさ」を感じる人を増やすことも同時にやっていかなくてはですね！

駅から外を眺めた時に行ってみたいと思わせる「何かやっている感」がウォークアブルには必要だと思います。今は街路樹でよく見えないので、視覚的に開けた空間を作るのがいいと思います。

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



凡例

その他まちづくりのポイントに関するご意見、ご感想

今後の進め方に関するご意見、ご感想

物を買うという商売は、インターネットで完結できるので、わざわざ出向く必要がありません。希少性のある飲食や、モノづくりや音楽など実際に体験できるスペースがあるとよいと思います。

よそ者から「あの街いいね」と言われることで、自分の街を好きになることが多い気がします。日本各地で流行りのウェルビーイングな街を整えてるところは多いですが、一宮は繊維特区(?)を軸に超イケてる街ブランドを整えても似合うのかなと思いました。商店街の景観を布で揃えるとかも良さそうですね。

「フルモール反対」の意見があったのはとってもよかったです。ただ、その意見は旧態のままで面白みがなく、説得力に欠ける印象でした。

実際に活性化するかはエリアマネジメントの問題、エリアの価値を向上させるハード、ソフト両面での努力次第でしょうか。

「人が集まる街=個性がある街、そこに行かないと得られない何かがある街」だと思います。犬山の城下町のように、一宮も繊維の街として銀座通りに他の都市のような無機質なデザインではなく、繊維のデザインを取り入れたおしゃれな街を見たいです。雰囲気良くなれば人も集まってくると思います。

今伊勢の周りも建売住宅やマンションがバンバン出来てますが、このまま名古屋で働く人たちのベッドタウンとなってしまっているのかと感じています。

デザインされた場所や人が集まる場所を追求する考え方と、既存の利を守ろうとする考え方は、相反するところが大いにあると思います。前者の考え方を優先に後者の代替案や妥協案を踏まえながら進むしかないと思います。

話し合いのテーブルについて、まず反対意見から入りましたが、今後どうすり合わせ出来るのかとても興味があります。銀座通りの人達が将来どうありたいのか？自分たちだけでなく全体が見れるのか？

一宮駅周辺はコンパクトでポテンシャルのあるエリアと思います。まちなかの開発を縦割りでなく、このタイミングで多くの人との対話を大切に市民と一緒にまちづくりをすることを期待します！

会場からの質問、意見・感想

シンポジウムで寄せられた意見や感想を紹介します。



凡例

今後の進め方に関するご意見、ご感想

その他のご意見、ご感想

講演がとても元気で明解でした。プランニングが具体的に動いているのが興味深かった。ただ、昔のように（小生70歳代）ハードな施設だけでなく、都市の空間全体の設計を頭に入れた、いわばはソフトな施策への転換を提唱していることはよくわかるのですが、それを支える人間そのものにまで、これからどう「語り」を広げていくのか楽しみです。さらなる御活躍を祈ります。

一宮駅周辺地区が「隠れた価値」ある街だったのだと気が付きました。その価値創造に自分が参加出来る事も気が付きました。

西村さんの熱意とパワーを感じたとてもいい講演でした。

職住、買い物すべてがコンパクトな街、大変興味深く拝聴しました。子育て中なので職住隣接を切に願います。駅前をコンパクトにとのことですが、実際一宮は駅前の家賃がとても高く新たな人が来にくいように思います。

30年後に電車や線路があるかは大事ですが、魅力のあるまちづくりができれば、残るし、できなければ減ぶというのが、第1部からの話かなと思います。

外部の方だからこそ西村さんの一歩ひいて俯瞰したご意見がありがたいです。

一宮市内の駅（JR, 名鉄）周辺についても考察を願います。駅を拠点としたネットワークが必要なのではないのでしょうか。ウォークブル事業が何なのかまだ分かりません。子どもが少ないなら老人を家から出させるようなことを考えてもよいのではないかと。